

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉 どの教科も基礎学力が、しっかりと身についていた。 ○国語では、漢字を書いたり、基本的な問題がよくできていた。 ○数学では、計算問題がよくできており、必要な知識が身についていた。記述式問題でも、無解答率が低かった。 ○英語(今年度は、2年生のみテストが実施)では、リスニングの内容理解、対話文の応答、英文の読み取り、単語の並べ替え、語形、語法の理解がよくできていた。</p> <p>〈課題〉 どの教科でも活用問題、記述式問題に課題がみられた。 ▲国語では、自分の考えを分かりやすく説明したり、条件に合わせて文章を書いたりすることに課題がみられた。 ▲数学では、資料を読み取り、根拠に基づいて自分の考え方を説明したり、規則性をみつけだして式に表したりすることに課題がみられた。 ▲英語では、対話文を聞き、資料と比較しながら英語で答えたり、長文の内容を踏まえて英文を書いたりすることに課題がみられた。</p>	<p>〈成果〉 ○家庭学習時間が、学年が上がるごとに減少していたことが改善された。 ○平日に1日1時間以上家庭学習をしている生徒の割合は、どの学年も80%以上で、全国・県平均以上である。 ○自分で計画を立てて勉強する生徒の割合が10%以上増加した。(前回全国調査54%→今回全国調査65.2%) ○あいさつをしっかりとっている生徒が多い。 ○地域の行事に参加している生徒の割合が、全国・県より20%近く高い。</p> <p>〈課題〉 ▲自分で計画を立てて勉強する生徒の割合(65.2%)を、生活記録表を有効活用することで更に上げていきたい。 ▲スマホ、ゲーム等の使用ルールを家庭で決めていない生徒も多いという結果であった。家庭と協力しながら改善していきたい。</p>

改 善 策

学 校 で の 取 組

<p>①今までの取組で、よかったことは継続していく。 ・課題一覧表を各教室に整備し、「どの教科で、今、何の課題が出ているか。提出日はいつか。」といったことが一目で分かるようにしていること。 ・生活記録表の内容を見直し、家庭学習の計画を帰りの会で立てる時間を確保し、家庭学習に臨むようにしていること。 ・「メディアコントロール&家庭学習強化週間」を定期的に設定して取り組んでいること。 ・定期テストの発表をテスト1週間前から10日前に変更していること。 ・自主学習ノートの継続的な取組(1日1ページは自分で内容を考えて学習に取り組むこと)。 ・課題の点検、評価をこまめに行うこと。 ・授業では、その時間の「めあて」を明確にし、まとめ、振り返りを行うこと。また、反復学習を行うこと。 ・授業の始めに、その時間の流れを示し、生徒が見通しをもてる授業を行うこと。 ・授業の中で、自分の考えを文章にまとめ、人に説明したり、意見交換をしたりして考えを深めるなど対話・話し合い活動を充実させること。 ・水曜日の放課後とテスト週間の放課後には、「放課後学習サポート」(先生と勉強する機会)を設けていること。</p> <p>②落ち着いて学習に取り組める集団をつくる。 ・i-check(生徒の現状を知るアンケート)等を実施して生徒一人ひとりへの理解を図るとともに、全体の傾向を分析し、有効な手立てを講じること。 ・集団づくりのために学級活動、道徳、行事などで計画的な取組を行うこと。(「ほめ言葉のシャワー」の取組を中心として、人間関係づくり・コミュニケーション力の向上に取り組むこと。)</p>
--

中 学 校 区 で の 取 組

<p>○中学校の定期テスト期間に合わせて、小学校と足並みを揃えて、引き続き「メディアコントロール&家庭学習強化週間」を設け、生活習慣の改善と学力の向上を図る。 ○各学校の研究授業に相互参加し、授業技術を研鑽すると共に授業の進め方、家庭学習などについての情報交換を行い、小・中学校が連携しながらレベルアップを図る。 ○中学生が、小学校にあいさつ運動に行くことや小学生が中学校のオープンスクールに参加することなどを通して、小学校から中学校へのスムーズな接続を図る。</p>
--

家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い

<p>○「メディアコントロール&家庭学習強化週間」を保護者の方にメール配信します。ご家庭でも、励ましの声掛けをお願いします。 ○あさくち教育週間(10/25(月)～10/29(金))には、授業を公開しています。保護者、地域の皆様は、ぜひ学校の様子をご覧いただき、ご助言をいただければと思います。 ○コミュニティ・スクールの活動を通して、学校、家庭、地域が、より強固に連携・協力しながら地域の宝である子どもたちを育てていきたいと考えています。ご協力、お力添えをお願いします。</p>
--